

(別紙8)

【認知症対応型共同生活介護用】

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月23日

【評価実施概要】

事業所番号	0171401763		
法人名	医療法人社団 向仁会		
事業所名	グループホーム よろこびの家 日吉		
所在地	北海道函館市日吉町3丁目20番25号 (電話) 0138-33-0505		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年2月17日	評価確定日	平成22年2月26日

【情報提供票より】(平成22年1月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)18年3月8日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤12人, 非常勤5人, 常勤換算	12人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	41,500円	その他の経費(月額)	24,000~34,000円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200円	昼食 400円
	夕食	400円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(1月5日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	4名	要支援2			
年齢	平均 85.2歳	最低	70歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	住慶クリニック・函館中央病院・函館協会病院・さこ歯科クリニック 藤岡眼科病院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

身体拘束廃止委員会、事故防止対策委員会、計画作成対策会議を設けてケアサービスの質の向上に取り組んでいる2ユニットのグループホームです。敷地内の畑は広く、職員と一緒に野菜も作られ本人から学んだり支えあう関係を築いたり、冬期間は近隣住民の雪捨て場所として開放し、ホームの持つ機能を地域に還元しています。また、地域の小学校や中学校の体験学習の受け入れを通じての交流や町内会の慰安会や夏祭り参加で地域の中でその人らしく暮らしていけるように地元の人々との交流に努めています。入浴が楽しめるように特殊入浴設備を完備しており、状態に応じた対応が可能となっています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回外部評価では、緊急時の一時避難場所の確保について改善点が見出されていましたが、速やかに対応できるように近隣の小学校や公共施設等一時的に避難できる場所の確保が行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に於いて見出された改善点は、職員間で話し合わせ改善の機会として利用されています。また、自己評価及び外部評価の結果の改善点は、運営推進会議に於いて報告されると共に家族、地域の人達の意見を取り入れサービスの質の向上に利用されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催されています。主な議題は感染症予防(ノロウイルス等)について町内会役員から主な年間行事とその説明 成年後見人制度について外部専門家よりの説明 見守りネットワーク事業について 看護師から医療連携による排泄介助の説明及び意見交換
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族、来訪者等が意見や苦情等を管理者、職員に言い表せるように意見箱を設置してそこでの意見を運営に反映しています。また、苦情受付窓口を明示し、家族からの苦情や意見をスタッフ会議で話し合ったり、運営推進会議に報告され意見交換が行われ、サービスの向上に活かす取り組みが行われています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 小学生や中学生の体験学習の受け入れや幼稚園児との交流、ホーム主催の夏祭りの開催で、町内会や近隣住民、家族、他施設の職員・利用者、子供達等の参加により地域との交流・連携に取り組んでいます。また、敷地を近隣の人達に開放して雪捨て場として提供や町内会の懇親会や日帰り旅行参加を通じて地元の人々との交流に積極的に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『自由・笑顔・安心』を盛り込み事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、朝礼やスタッフ会議を通じて理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念を実践する為に事故防止対策委員会で法人全体でヒヤリ・ハット等で潜在する要因の洗い出しやデータ収集等で事故の未然防止に取り組んでいる。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	小学生や中学生の体験学習の受け入れや幼稚園児との交流、ホーム主催の夏祭りの開催で、町内会や近隣住民、家族、他施設の職員・利用者、子供達等の参加により地域との交流・連携に取り組んでいる。また、敷地を近隣の人達に開放して地元の人々との交流に積極的に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に於いて見出された改善点は、職員間で話し合わせ改善の機会として利用されている。また、自己評価及び外部評価の結果の改善点は、運営推進会議に於いて報告されると共に家族、地域の人達の意見を取り入れサービスの質の向上に利用されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は、定期的開催され利用者の家族、町内会役員、地域の住民代表、函館市職員、包括支援センター職員、管理者・職員が参加し、成年後見人制度等具体的な活動内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>函館市の感染症予防等の研修会参加や包括支援センターとの研修会参加、情報交換等でサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理は、毎月、請求書の郵送の際に預かり金出納帳と領収書のコピーを添付し、残高も報告している。また、定期的に発行する「よろこびだより」で、職員の紹介記事の掲載や日常生活の様子、ホーム行事参加の様子など報告されている。</p>		<p>認知症やグループホームの役割、介護保険制度について今後、家族等の協力がさらに得られるように広報に取り組まれることを期待します。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族、来訪者等が意見や苦情等を管理者、職員に言い表せるように意見箱を設置してそこでの意見を運営に反映している。また、苦情受付窓口を明示し、家族からの苦情や意見をスタッフ会議で話し合ったり、運営推進会議に報告されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	身体拘束廃止委員会や事故防止対策委員会、計画作成担当者会議などでケアサービスの質の向上に取り組み職員との活発な意見交換や研修が実践されている。また、職員の段階に応じてグループホーム協議会や地区のブロック会議など外部研修参加を奨励している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会や地区のブロック会議、包括支援センターなどの研修会参加を通じて交流、連携が行われ、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には見学など職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、調理や味付け、食器拭き、おしぼりたたみや掃除、畑作業や野菜の収穫等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、散歩や買い物、寿司や食堂での外食等支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族、かかりつけ医、医療連携の看護師、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員を中心に、モニタリング、カンファレンスを行い、3ヶ月に一度、見直しを行い、状態変化や環境の変化があった場合には本人、家族、関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、散歩や買い物、特殊入浴や通院への支援、外食等柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医との連携で適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、「看取り指針」が明確でできるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応が行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、公園や函館山へのドライブ、食堂や回転すし等の外食など本人の希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。また、敷地内の芝生で焼き肉や流しそうめんを行うなど工夫している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1階には、身体機能が低下し入浴が困難になった場合でも入浴できるような特殊浴槽の設備が導入されている。また、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、週2～3回を目安に入浴できるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、畑での野菜作りや歌唱、買い物や散歩、大沼公園や函館山へのドライブなど楽しみごとや気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、夏祭り等のホーム行事参加、散歩や買い物、近隣観光地巡りのドライブなど気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設置して職員間の共有が計られている。また、全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように定期的な火災避難訓練や自主防災体制、設備の点検が実施されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスや摂取カロリーは、職員に栄養士が在籍し、アドバイスや助言を受けると共に具体的な水分・食事の摂取量も記録されケアサービスに活かされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の敷地は広く、冬期間は近隣住民の雪捨て場として開放し、春には畑ではジャガイモ、なす、トマト、きゅうり等栽培し、食事が楽しみなものになるよう工夫をしている。また、共用空間や居室では、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇、ソファなどの使い慣れた家具などが持ち込まれていたり、家族の写真や趣味で作った作品などが飾られ本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。